

スリップ事故 11月は特に注意

- ◇11月はスリップによる死亡事故が最も多い月です◇
- ◇午前中は7時から9時、午後は5時から6時が最も多い傾向◇
- ◇冬道での運転にまだ慣れていない◇

【スリップ事故は11月から増加】

2019年11月08日 18時39分

厳しい冷え込みや積雪に伴って増えるのが、自動車のスリップ事故です。

警察によりますと、道内で過去5年間に起きたスリップ事故の件数は、10月が17件にとどまっているのに対し、11月が505件と大幅に増え、特に死亡事故は11月がもっとも多くなります。

時間帯では、午前中は7時から9時、午後は5時から6時が最も多い傾向にあります。

朝や夜の間、冷え込んでぬれた路面が凍結したり、雪が積もったりして路面の状況が変わりやすい一方で、ドライバーも冬道での運転にまだ慣れていないことが背景にあります。

また、スリップが原因の死亡事故は、カーブや交差点よりも直線で比較的多く、昨年度までの5年間で起きた事故のうち、半分以上を占めています。

普通車が対向車線にはみ出して大型車と正面衝突する事故が目立っていて、警察では、普通車のドライバーが大型車とすれ違う際に怖くなってハンドルやブレーキを急に操作することが大きな要因になっていると見ています。

帯広で、「おもいやりライト運動」

大事な人を守りたいという思いで…

十勝での交通事故を無くしていきたい

2019年11月08日 19時41分

日没の時間が早まるこの時期に交通事故を防ごうと、ドライバーに早めのヘッドライト点灯を呼びかける取り組みが帯広市で行われました。

これは全国各地で行われている「おもいやりライト運動」という取り組みで、道内では初めて行われました。

7日は帯広市の国道沿いの交差点に、明るい色の服を着た子どもや大人およそ20人が集まりました。

そして、ドライバーに向かって「早めの点灯お願いします」などと声をあげながら、手作りのパネルを掲げてヘッドライト点灯と交通事故の防止を呼びかけました。

警察によりますと、日没の時間が早まるこの時期は事故が増える傾向にあるということで、十勝でも7日夕方、音更町で道路を横断していた女性が乗用車にはねられてけがをする事故が起きています。

取り組みを行った「とかち夕暮れライトオンプロジェクト」の代表は、「大事な人を守りたいという思いで取り組みました。十勝での交通事故を無くしていきたいです」と話していました。